

第12回 埼玉輸血フォーラム

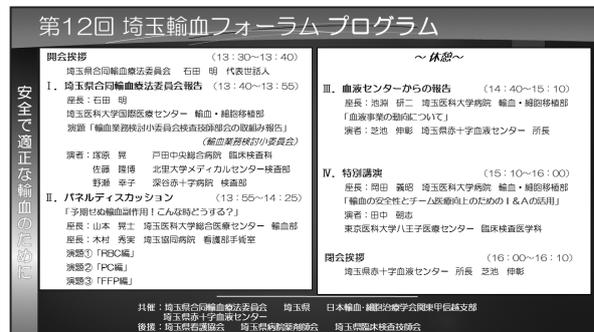
開会あいさつ

埼玉県合同輸血療法委員会 代表世話人 石田 明

スライド1



スライド2



皆さんこんにちは。本日は第12回埼玉輸血フォーラムに参加いただきましてどうもありがとうございます。

わたくしは、埼玉医科大学国際医療センター輸血細胞移植部の石田 明（あかる）と申します。

今年度から合同輸血療法委員会の代表世話人を仰せつかりましたので、フォーラム開催にあたって一言だけご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックが始まって1年が過ぎましたが、まだまだ感染の恐怖にさらされた日々が続き、どなたも不安な毎日をお過ごしのことと思います。

本来、今回のフォーラムについては当初開催している状況ではないという意見が多く、中止を予定で進めておりましたが、このコロナ過だからこそ頑張って開催しませんか?という力強いお言葉を、池淵前代表世話人から頂いたことで、舵を切ることができ、事務局が一丸となってリモ-

ート開催の準備をすすめてくださったおかげで、本日、無事開催することができました。

とは言え、そのような事情からプログラムの内容を充分検討する時間的余裕がありませんでしたが、それでも充分聴きごたえのあるプログラムに仕上がりましたことを大変嬉しく思っています。

さて、プログラムをご覧ください。まずは、最初は埼玉県合同輸血療法委員会の報告になります。

今年度は委員会活動が十分に叶いませんでしたが、検査技師部会の取り組み報告について報告をいただくことになっています。

続いて毎年好評でありますパネルディスカッションです。今年度は新たな企画を準備することが叶いませんでしたので、昨年度の予期せぬ輸血副作用こんな時どうする?

という内容について、ビデオにしましたものを準備しております。

休憩を挟みまして、埼玉県赤十字血液センター

所長であります芝池伸彰先生から血液事業の動向についてお話を頂きます。

最後は、東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科の田中朝志先生から、輸血の安全性とチーム医療向上のための I&A の活動というテーマについて、特別講演をお願いしています。

実は埼玉県では I&A を取得している施設が 3 施設しかありません。

I&A に興味を持っていただける施設が増えるような、そして I&A 取得が難しい施設にとっても充分役に立つような大変興味深いお話が聴けるものと楽しみにしております。

リモート開催なので職場でも、あるいはご自宅でも、あるいは公園でも構いません。

普段着でもパジャマでも足を投げ出してくつろいででも構いません。

今日はフォーラムをじっくり堪能していただければと思います。

最後になりますが、各種調査にご協力いただきました多くの医療施設の皆様、本委員会の活動にご尽力いただきました委員の皆様、そして活動を陰ながら支えてくださいました埼玉県赤十字血液センターの皆様に心から御礼申し上げます。